

## Medtec Japan 2023 に横浜パビリオンを出展します

横浜市及び(公財)横浜企業経営支援財団(以下「IDEC 横浜」)は、健康・医療分野の革新的な製品・技術・サービスの創出を推進する「LIP.横浜」とIoT分野の新ビジネス創出を推進する「I・TOP 横浜」の2つのプラットフォームのネットワークを活用し、デジタルヘルスケア分野における中小企業・スタートアップ企業の取組を積極的に支援しています。

その一環として、昨年に引き続き、東京ビッグサイトで開催される「Medtec Japan 2023」に横浜パビリオンを出展し、市内企業11社のヘルスケア領域におけるビジネス創出を支援します。

### 1. Medtec Japan 2023 の概要

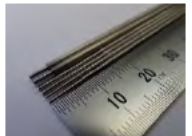




- (1)会期：2023年4月19日(水)～4月21日(金)
- (2)会場：東京ビッグサイト 東展示場
- (3)主催：インフォーマ マーケッツ ジャパン 株式会社
- (4)出展社数：420社 ※3月28日現在

### 2. 「横浜パビリオン」概要

- (1)出展小間：小間番号 605 6小間 (54㎡)
- (2)出展企業および製品概要：



横浜パビリオン ブースイメージ図

<b>1 株式会社アルファテック (緑区)</b>	
お客様オリジナルの部材や治具調達を可能にする「小径ワイヤー・ピン・パイプなどの受託加工」	
<b>2 株式会社池上精機 (港北区)</b>	
オリジナルトルクレンチ、トルクドライバー、インプラント、医療機器、医療ツール	
<b>3 株式会社ガードアイ (港北区)</b>	
在宅見守り機器①ケンコウボタン ②いつでもボタン ③きらきらボタン ④コミュニティーの4品	
<b>4 サンコースプリング株式会社 (港北区)</b>	
定荷重ばねコンストン®は、当社が開発した定荷重ばねの商品名で、引き出しても、押しでも、またそのストロークが長くても、常に一定の出力を得られる一風変わったスプリング	
<b>5 スパークスシステムズ ジャパン株式会社 (都筑区)</b>	
UML/SysML 等に対応する、システムやソフトウェアの設計のためのモデリングツール「Enterprise Architect」および関連製品	

<b>6 株式会社 SOXAI (中区)</b>	
指から様々な健康状態を可視化できる世界最小のスマートリング 「SOXAI Ring (ソクサイ リング)」	
<b>7 株式会社ツジマキ (南区)</b>	
金属、プラスチック、ガラス、陶器、革、木など、様々な素材や目的に合わせた最適な印刷方法をご提案します。	
<b>8 MedVigilance 株式会社 (西区)</b>	
アプリ連動型ウェアラブルデバイス『LANCEBAND 3』や、指 1 本で健康管理 + 入退室ができるスマートリング『Φ Ring(ファイ リング)』	
<b>9 ヤマセ精機株式会社 (港北区)</b>	
耐摩耗性、耐衝撃性、耐食性に優れた超硬合金やチタン合金の精密金型部品等	
<b>10 Life Analytics 株式会社 (南区)</b>	
あらゆる独自画像フォーマットに対応したクラウド型画像解析 Web アプリケーション	
<b>11 和田工業株式会社 (港北区)</b>	
医療、自動車、産業機器に使用されている電子部品（コネクタ）の精密なプレス端子およびコネクタの展示	

## LIP 横浜とは…



横浜から、健康・医療分野（※）のイノベーションを持続的に創出していくことを目的とし、産学官金が連携して取り組むためのプラットフォームです。

LIP横浜では、企業・大学・研究機関で構成するネットワークから革新的なプロジェクトを生み出すとともに、新技術・新製品の創出にチャレンジするベンチャー企業・中小企業等の皆様を応援するため、様々な取組を行っています。

（※）健康・医療分野：創薬、医療機器開発、診断技術開発、予防医療、再生医療、介護・福祉、健康サービスなど

## I TOP 横浜とは…



横浜経済の強みである「ものづくり・IT 産業の集積」を活かし、IoT 等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。

これらの取組みから個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。

## デジタルヘルスケアサポート拠点



デジタルヘルスケア分野での新技術・新製品の開発を支援する拠点を令和3年4月1日に開設しました。この拠点では、IoT分野のI・TOP横浜と健康・医療分野のLIP横浜の2つのプラットフォームのネットワークを活用して、横浜企業経営支援財団、木原記念横浜生命科学振興財団、横浜市が、スタートアップや中小企業の製品化に向けた支援や新たなビジネス創出の支援を行います。

### ■ 場所

横浜市中区尾上町 1-6 ICON 関内 YOXO BOX OFFICE08

### ■ 利用対象者

デジタルヘルスケア分野に関連する新技術や新製品の開発を目指すスタートアップ、中小企業、大学・研究機関など

### ■ 主な支援内容

- ・相談対応・伴走支援、マッチング支援、展示会出展などの販路開拓支援
- ・論文や調査レポートなどの閲覧
- ・デジタルヘルスケア分野を含むヘルスケア分野参入セミナーなどのイベント開催

### ■ 利用方法

利用は無料です。お問合せ先にメールにて事前に予約してください。

### ■ お問合せ先

デジタルヘルスケアサポート拠点事務局  
healthcare@idec.or.jp



お問合せ先		
横浜市経済局産業連携推進課長	岩船 広	Tel045-671-2574
公益財団法人横浜企業経営支援財団 経営支援部長	加藤 盛司	Tel045-225-3733

※本件は、横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会及び横浜経済記者クラブに同時発表しています。